

池田町第6次総合計画後期基本計画【概要版】

令和6年2月策定

平成31年度から令和10年度を計画期間とする池田町第6次総合計画のうち後半5年間の計画期間（令和6年度～10年度）とする後期基本計画を策定しました。

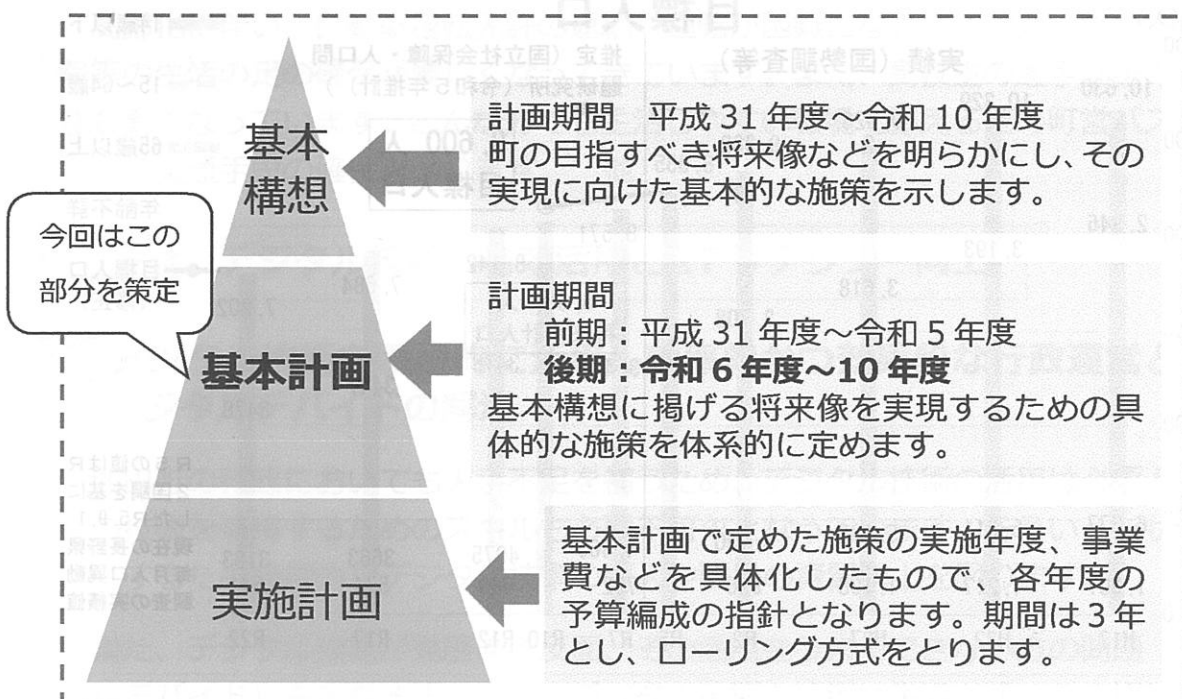
策定には一般公募の方を含む10人の総合計画審議会の皆さんにご審議頂いたほか、アンケートやパブリックコメント（計画案への意見公募）の結果を反映しています。

池田町第6次総合計画後期基本計画の概要を以下にお知らせします。

1 計画の趣旨

地方自治体がそれぞれ人口増対策に取り組む中で、町の魅力を高め、いかに人を呼び込む施策が出来るかが以前に増して問われています。また、デジタル技術による変革も飛躍的に向上しましたが、それらを有効活用し、より良く、効率的な行政を行っていく力が必要となってきました。そのためには長期的かつ戦略的な視点でまちづくりを進めていく必要があります。このため、町政の長期的な全体像を示し、各政策の基本的な方向を明らかにし、町が行う全ての政策や事業の根拠となる計画として策定した、「池田町第6次総合計画」の「前期基本計画」部分を見直し「後期基本計画」を策定します。

2 池田町第6次総合計画の構成と計画期間



3 基本構想（平成 31 年度～令和 10 年度の 10 年計画）

①基本理念（変更なし）

「温かい心・豊かな文化・活力ある産業が育ち魅力あふれる美しいまち」

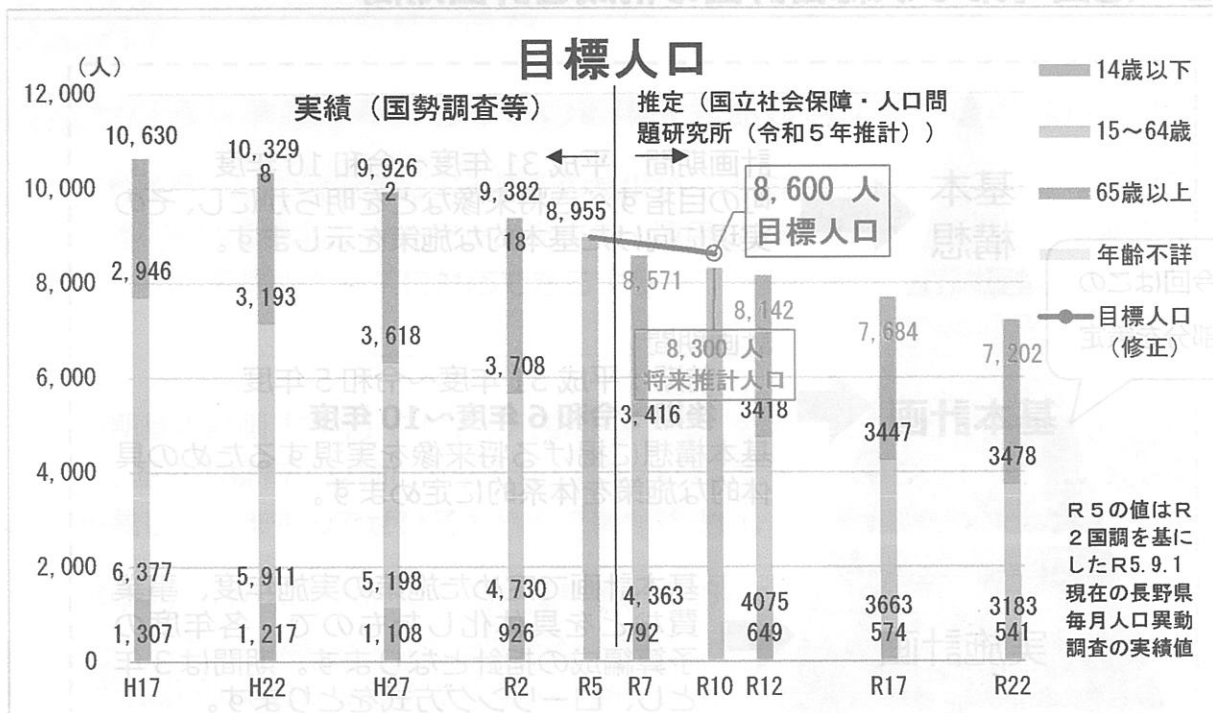
②基本目標（変更なし）

基本理念を実現するため、基本目標を次のとおり掲げ、総合的かつ計画的に施策の展開を図ります。

- 1 自然環境を守り暮らしに活かす町 ～環境に係る施策～
- 2 未来を切り拓くたくましい子どもが育つ町 ～子育て支援・教育に係る施策～
- 3 人を魅きつける住みよい町 ～生活基盤の整備・移住定住に係る施策～
- 4 産業の基盤を強め活性化する町 ～産業に係る施策～
- 5 支えあい健やかに暮らせる町 ～福祉と人権に係る施策～
- 6 地域の絆で創る安心安全な町 ～消防・防災・防犯、行政運営に係る施策～

③目標人口（修正あり）

令和 5 年 9 月 1 日の長野県毎月人口異動調査では 8,955 人となりました。当初、令和 10 年の目標人口を 9,000 人としていましたが、目標達成は難しいと考え、令和 10 年目標人口を下方修正し **8,600 人** とします。



4 後期基本計画（令和6年度～10年度の5年計画 今回策定）

後期基本計画では、重点課題に対し、次の方針により取り組みます。

課題1 人口減少、少子高齢化

方針次世代を地域で育むまちづくり ～子育て支援～

若い世代が結婚、妊娠、出産、子育てを安心して前向きに取り組めるよう、環境整備をし支援します。生まれた時から親と子が愛着を結べるよう働きかけ、地域全体で子育てに関わる意識を持ち、成長の手助けをします。

次代を担う子どもたちを育むため、目指す子どもの将来像に向け、それぞれの成長段階に応じた的確な支援ができるよう、保育園から中学校まで一貫した教育理念を共有して取り組みます。他

方針生活が潤うまちづくり ～産業活性化による雇用創出～

観光推進、健康増進も期待される花とハーブの推進、農業の担い手育成や、高品質が自慢のワイン用ぶどう栽培、などにより産業を維持発展させるとともに、雇用が創出・拡大するよう、企業、関係団体および行政が連携して取り組みます。他

方針人を魅きつけるまちづくり ～魅力あるまちづくりによる移住定住促進～

町の宝である美しい景観を守り、さらに緑ゆたかな住みよい町とするよう、住民がその意識を持ち、町の中に彩りが増えていくことを目指します。

町民がずっと住み続けたいと思い、また、進学などで一度池田町を後にした人たちも戻ってきたいと思えるまちづくりを目指します。他

方針交通弱者のための交通手段の確保と生活道路の整備

高齢化に伴い、自動車運転免許の返納や運転が困難になる方が増え、買い物や通院等の生活の足の確保が難しくなっています。また、高校生の通学支援の必要性も高くなっています。どんな方でも生活しやすい環境を整えるため町営バスなどにより交通手段の確保を図ります。他

課題2 デジタル技術の有効活用とITリテラシー向上

方針デジタル技術を積極的に活用し効率的かつ効果的な行政運営とデジタルデバイドの解消

池田町の行政においても人手不足を補うため、デジタル技術の活用は必須となり、その技術を活用するためのスキルも必要不可欠となっています。そういった状況に対応するため積極的なデジタル技術の導入や職員の資質向上を図ります。

また、デジタル技術が発展する反面、その活用をうまくできない方の問題（デジタルデバイド）もあります。今や、デジタル技術の活用は生活と切っても切り離せ

ない状況となってきたため、デジタルデバイドを解消するべく町民の皆さんのITリテラシー向上を図っていきます。

課題3 まちなか活性化

方針 活気あふれるまちづくり～人々が集い、賑わいを増すための取り組み～

創業支援・特産品開発など産業育成を図る「シェアベースにぎわい」および芸術や生涯学習振興を図る「交流センター かえで」では、産業・文化の発展とともに、人々が集い交流することを目指しています。

その他、商業等活用エリア（交流センターかえで東側）や官・民間の文化・観光施設について住民と力を合わせて集う人を増やし、さらに地域へも人の流れを作り、生き生きとした魅力あふれるまちづくりに取り組みます。

課題4 防災・減災対策

方針 地域の絆で創る安全な町づくり～共に取り組む防災・減災対策～

地震や風水害など大規模な災害に対応するため、迅速な初動体制の確保、住民への速やかな情報提供および広域連携による相互援助体制の充実など、防災対策を強めます。

いざ災害が起こった時に住民同士で安否確認、避難の声掛け、スムーズな避難所運営が行えるよう、日ごろから声を掛け合いお互い助け合える関係を作り、地域活動を通して連帯感を強め、防災・減災の力を高めるよう促します。

課題5 行財政の適正な運営

方針 行財政改革推進委員会からの答申を考慮し適切で計画的な行財政運営

生産年齢人口の減少等による税収の減少が見込まれる中、行財政改革推進委員会からの答申を参考にロードマップを作成・運用し、効率的で計画的な財政運営を図りつつも、町民のニーズに対応できるようバランスの取れた行政運営を図ります。

後期基本計画【本体】にはこの【概要版】にてお示したものの他、基本目標毎に詳細に計画を記しています。ホームページに掲載していますのでぜひそちらもご覧ください。

<https://www.ikedamachi.net/0000003282.html>



発行・問い合わせ先 長野県池田町総務課企画係 TEL0261-62-3131

冬のスリップ事故防止



● 冬期のドライブに備えて

冬期における長野県内の道路においては、降雪・凍結などにより路面状況が急変してスリップしやすくなります。車でお出かけの際には、ゆとりを持った計画、目的地までの道路交通情報などの確認、冬用タイヤの早期装着により、安全で快適なドライブを楽しみましょう。



冬は積雪などの影響によりスリップ事故が多発します。積雪のない場所でも、

道路の日陰部分
トンネルの出入口や交差点
橋の上



などは路面が凍結している可能性があり、危険です！

スピードは控えめに！

雪道や凍結道路は滑りやすく危険です。タイヤチェーンを携行し、早めに装着しましょう。速度を十分に落とし、車間距離を十分にとって運転しましょう。

「急」のつく運転はダメ！

「急加速」「急ブレーキ」「急ハンドル」はスリップのもと!! 発進時・加速の時はあわてずに、じっくりとアクセルを踏みましょう。車間距離を十分取って、余裕を持って減速しましょう。

点検整備は忘れずに！

ワイパーゴムの劣化、スタッドレスタイヤの消耗、ウォッシャー液残量など、こまめに点検整備を実施すると、愛車精神も生まれ安全運転に心掛けることができます。

右にあるとおり提供しています



● 長野県内の道路交通情報を確認するには

日本道路交通情報センター(JARTIC)

- 長野センター 050-3369-6620
- 全国共通ダイヤル 050-3369-6666
- 携帯短縮ダイヤル #8011
- ホームページ <https://www.jartic.or.jp/> (道路交通情報Now!!)
- ★ 日本道路交通情報センターでは、災害時情報提供サービスも行っています。

VICS情報

- VICS対応カーナビにより、道路に設置されたビーコンやFM多重放送から送られる交通情報をご利用ください。

ラジオ放送

- 日本道路交通情報センターからのラジオ放送による道路交通情報をご利用ください。

交通管制センター

- 026-244-0110 (内線:615) 長野中央警察署内

警察広報紙

て
る
て
る
て
る
坊
主
の
里

大町警察署
TEL 22-0110
池田町交番
TEL 62-4110
作成者 大木

サイバーセキュリティ月間について

誰もが安心してITの恩恵を享受するためには、国民一人ひとりがセキュリティについての関心を高め、これらの問題に対応していく必要があります。

このため、政府では、サイバーセキュリティに関する普及啓発強化のため、2月1日から3月18日までを「サイバーセキュリティ月間」とし、サイバーセキュリティについての関心を高める取組をおこなっています。

サイバーセキュリティ対策 9か条

※内閣サイバーセキュリティセンター参照

PCに不正アクセスされた…

OSやソフトウェアは常に最新の状態にしておこう



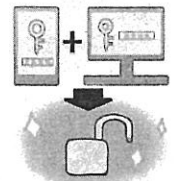
知らない間に自分のアカウントにログインした形跡が…

パスワードは長く複雑にして、他と使い回さないようにしましょう



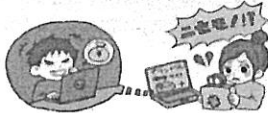
気づかないうちにアカウントを乗っ取られた…

多要素認証を利用しよう



本モノだと思ったのに偽モノだった…

偽メールや偽サイトに騙されないように用心しよう



添付ファイルを開いたらウイルスに感染した…

メールの添付ファイルや本文中のリンクに注意しよう



見られたくない情報を見られてしまった…

スマホやPCの画面ロックを利用しよう



ある日突然、大切なデータが消えた…

大切な情報は失う前にバックアップ（複製）しよう



スマホやPCを盗まれた…

外出先では紛失・盗難・覗き見に注意しよう



これはウイルス？詐欺？どうしたらいいの…

困った時はひとりで悩まず、まず相談しよう



困ったことがあったら警察へ相談を…

県下の交通事故

(令和6年1月31日現在)

区分	累計	前年比
件数	414	72
死者数	1	-1
負傷者数	487	78



発行

一般財団法人長野県交通安全協会
 長野県交通安全活動推進センター
 〒381-2224
 長野市川中島町原704-2
 TEL 長野026(292)9750
 FAX 長野026(293)3769



ホームページアドレス <https://ankyounaganoken.com>

Eメールアドレス ankyounaganoken@bi.wakwak.com

令和6年4月6日(土)~4月15日(月) 春の全国交通安全運動

毎月5日・20日は「交通安全の日」です



スローガン 信濃路は みんなの笑顔 つなぐ道

全国重点

- こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践
- 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行
- 自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守

第64回 交通安全国民運動中央大会

交通栄誉章「緑十字金章・銀章」等の
受賞者・団体等



緑十字金章受賞者



- 交通安全功労受賞者
木内 征夫 (佐久市) 佐久交通安全協会
小宮山克子 (小県郡) 上田交通安全協会
- 優良運転受賞者
永井 三雄 (北佐久郡) 川西交通安全協会

緑十字銀章受賞者



- 交通安全功労受賞者
金井 徳二 (長野市) 小出由美子 (長野市)
伊藤 正直 (小諸市) 池田 章 (佐久市)
小笠原弘三 (茅野市) 原 勝弘 (駒ヶ根市)
木下 寛 (飯田市) 大井 広志 (塩尻市)
秋山 博見 (松本市) 丸山 隆興 (北安曇郡)
岩野 仁 (長野市)
- 優良運転受賞者
富山 忠幸 (埴科郡)

交通安全優良団体等

- 交通安全優良事業所
アルピコ交通株式会社
社会福祉法人平成会介護老人福祉施設さわらび
- 優良交通安全協会 伊那交通安全協会
- 優良安全運転管理者協議会
長野県安全運転管理者協会中高支部

(一財)全日本交通安全協会と警察庁共催による第64回交通安全国民運動中央大会が1月16日・17日の両日開催されました。

1月17日、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、東京都文京区の文京シビックホール大ホールにおいて開催された本会議では、交通功労のあった個人に交通栄誉章「緑十字金章・銀章」が、交通安全優良団体等には表彰状がそれぞれ贈られました。また、前日の16日には、新宿区のランドヒル市ヶ谷において「地域・家庭・教育部会」「企業部会」の2分科集会在開催され、それぞれ講師による基調講演と交通安全対策についての意見発表、討議が行われました。

本県関係の交通栄誉章「緑十字金章・銀章」受賞者・団体等は右の方々です。(敬称略)

受賞者の皆様おめでとうございます。

令和5年中 長野県下の交通事故発生状況

●概要 (前年比)

区分	令和5年	令和4年	増減数	増減率	高齢者	高齢1当	歩行者	夜間
件数(件)	5,006件	4,752件	254件	5.3%	2,096件(141)	1,469件(120)	687件(126)	1,174件(79)
死者数(人)	42人	46人	-4人	-8.7%	25人(-2)	14人(2)	15人(1)	23人(6)
負傷者数(人)	5,951人	5,611人	340人	6.1%	1,043人(29)	1,760人(142)	689人(131)	1,376人(105)

※1. 死者は24時間以内の死者数、()内は前年比。2. 高齢者とは65歳以上の人。3. 高齢1当とは原付以上の高齢運転者が第1当事者となった交通事故。

- 交通事故死者数は42人
 - ・統計開始(昭和23年)以降最少となった令和3年の45人から3人減少して過去最少
 - ・令和5年中の全国の交通事故死者数は2,678人で、前年と比べて68人、2.6%増加
- 交通事故発生件数、負傷者数、重傷者数は、前年と比べていずれも増加



●主な特徴

- 交通事故死者数は前年比で全国は増加する中、長野県は過去最少を更新
- 高齢者の死者は25人(前年比-2人)で、全死者の59.5%
- 高齢1当事故の死者は14人(前年比+2人)で全死者の約33.3%
- 歩行者の死者は15人(前年比+1人)で、全死者の35.7%
 - ・うち高齢者の死者は13人で、歩行者の死者の86.7%
 - ・うち横断歩道横断中の死者は0人(前年比-2人)
 - ※横断歩道横断中の死者0人は、横断歩道事故の統計が確認できる昭和38年以降初めて
 - ・うち夜間の死者は11人(前年比±0人)で、歩行者の死者の73.3%
- 自転車の死者は3人(前年比-5人)で全死者の7.1%



令和6年度 長野県交通安全運動推進計画

基本方針

交通ルールを守り、正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、県民の交通安全意識を高め、推進機関・団体が連携して交通安全対策を推進することにより、日本一安全な道路交通の実現を目指す。

スローガン

信濃路は みんなの笑顔 つなぐ道

重点事項

- ① 高齢者の交通事故防止
- ② 通学路・生活道路等の安全確保と歩行者保護の徹底
- ③ 自転車等の安全利用の促進
- ④ 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底
- ⑤ 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
- ⑥ 飲酒運転等の根絶



季別の運動

名称	期 間	
春の全国交通安全運動	4月6日(土)～4月15日(月)	10日間
夏の交通安全やまびこ運動	7月11日(木)～7月20日(土)	10日間
秋の全国交通安全運動	9月21日(土)～9月30日(月)	10日間
年末の交通安全運動	12月15日(日)～12月31日(火)	17日間

啓発日

名称	実施日
交通安全の日	毎月5日、20日
シートベルト・チャイルドシート啓発の日	毎月4日、14日、24日
二輪車交通安全の日(全国統一バイクの日)	8月19日(月)
自転車の日	5月5日(日)



交通安全標語

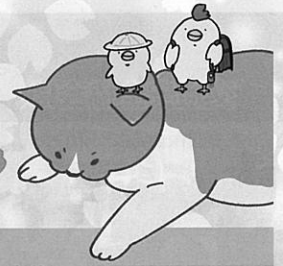
(一財)全日本交通安全協会と毎日新聞社の共催で募集した令和6年使用の「交通安全年間スローガン」が決まりました。最優秀作(内閣総理大臣賞)は、以下の作品です。

内閣総理大臣賞の受賞者は、令和6年1月17日(水)開催の「第64回交通安全国民運動中央大会」で表彰されました。

- 今日もまた あなたの無事故 待つ家族 【運転者(同乗者を含む)に呼びかけるもの】
- 身につけよう 交通ルールと ヘルメット 【歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの】
- わたるまえ わすれずかくにん みぎひだり 【子どもたちに交通安全を呼びかけるもの】



新入学児童・園児の交通事故防止



春は交通事故が増える時期です。子どもたちの安心・安全を守るため、皆さんの理解と協力をお願いします。



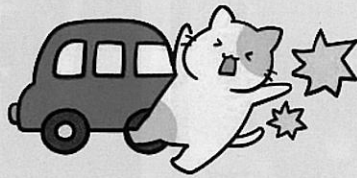
☆ドライバーの皆さんへ

生活道路でのスピードダウンなど安全運転をお願いします。

- ① 普段からこどもの飛び出しに注意しましょう。
 - ・特に生活道路や住宅街などでは、道路脇にこどもがいないかを注意しながら、走行しましょう。

子供飛出し

注意



- ② こどもを見かけたら、反対側にも目配りしましょう。
 - ・時としてこどもは想定外の行動をすることがあります。スピードダウンし、十分に注意しましょう。
- ③ 駐停車している車の陰にも目配りしましょう。
 - ・駐停車している車や電信柱などの陰からこどもが飛び出してこないかをしっかり目配りをしながら走行しましょう。
- ④ 右折・左折時は十分に注意しましょう。
 - ・信号機のある交差点などでも、横断している歩行者に加え、車の側方から横断し始めているこどもがいないかを十分に注意しましょう。

☆保護者の皆さんへ

児童、園児のお手本となって安全指導をお願いします。

- ① 飛び出しの危険性を繰り返し指導しましょう。
 - ・道路を横断する際は、一旦立ち止まり、左右を確認してから渡りましょう。
- ② こどもと一緒に、通学、通園路の安全点検をしましょう。
- ③ 信号機の見方を指導しましょう。
 - 3色信号機の場合
 - 青：車に気を付けて渡りましょう
 - 黄：渡り初めてはいけません。
 - 赤：渡ってはいけません。



● 2色信号の場合

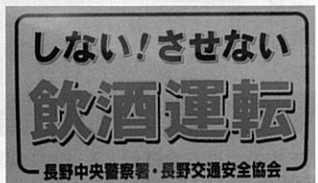
- 青：車に気を付けて渡りましょう。
- 青の点滅：渡り始めてはいけません。
- 赤：渡ってはいけません。



- ④ 駐停車している車の陰から飛び出してはいけないことを指導しましょう。

地区安協活動事例紹介 ～ 飲酒運転の根絶に向けて ～ [長野交通安全協会]

長野交通安全協会では、交通事故を一件でも減らしたいとの願いの実現のため、30ある各地域支部においてそれぞれの地域の実情に応じて工夫を凝らした交通事故防止啓発活動に取り組んでいます。特に、悲惨な結果に直結する「飲酒運転」の根絶に向け、街頭活動のほか、酒類提供の飲食店等への協力を求める活動や「しない!させない 飲酒運転」マグネットシートを新調し関係団体等への車両貼付等による飲酒運転根絶の啓発活動に積極的に取り組んでいます。



交通安全協会へのご入会のお願い

ドライバーのみなさん...

あなたの地域の交通安全を支えるのはあなたです

●免許更新時に交通安全協会へのご加入をお願いします。

交通安全協会の活動

交通安全活動

交通安全広報

優良運転者表彰

交通安全教育

- 会費は運転免許証の有効期間により
 - 3年の方は1,400円
 - 4年の方は1,700円
 - 5年の方は2,000円となります。



「交通安全協会」

各地区の交通安全活動ニュース

交通安全協会は、交通事故をなくすため、様々な活動を行っています。活動の一例を紹介します。



一日警察署長に就任した俳優の緒形直人さんをお迎えし、管内の大型ショッピング施設において交通安全啓発活動を実施した。(中高)



「年末の交通安全運動」の活動で、管内の高校において自転車ヘルメットの着用啓発を実施した。(須高)



「年末の交通安全運動」の活動で、松代大橋前県道において街頭啓発活動を実施した。(長野南・松代)



管内の公民館において高齢者に対する交通安全教室を開催した。(小諸)



「年末の交通安全運動」で、御代田町内の県道において飲酒運転防止などと呼び掛けた。(佐久)



「年末の交通安全運動」で、ドライバーに「交通安全文字入りりんご」を手渡しして交通事故防止を指導した。(川西)



「年末の交通安全運動」で、市役所西県道交差点において街頭啓発活動を実施した。(茅野)



「年末の交通安全運動」で、諏訪警察署前において街頭啓発活動を実施した。(諏訪)



「年末の交通安全運動」で、飲食店を対象とした「飲酒運転防止パトロール」を実施した。(飯伊)



「年末の交通安全運動」で、管内の国道において街頭啓発活動を実施した。(阿南)



「年末の交通安全運動」で、少年部による交通安全を祈願した「正月飾り作成研修会」を開催した。(安曇野)



「年末の交通安全運動」で、通学路において児童に対する見守り活動を実施した。(池田松川)

編集後記

長野県交通安全協会は、交通事故のない安全な社会を実現するため各種交通安全活動を行っています。これらの活動は、皆様からのご支援を頂いている交通安全協会費で運営されています。今後とも交通安全協会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

URL [https://www.jsdc.or.jp/]

お持ちですか?

SDカードは安全運転者の証

SDカードは、無事故・無違反証明書又は運転記録証明書の申請者で、1年以上事故・違反等の記録がない方にお渡しています。(各1通670円)



自動車安全運転センター長野県事務所 ☎026-292-5111
〒381-2224 長野市川中島町原704-2(北信運転免許センター内)

長野県公安委員会指定

人に、街に、やさしさを



ドリームモーターズスクール昭和

〒381-2224 長野市川中島町原 639 ☎0120-355-106

ドリームモーターズスクール須坂

〒382-0098 須坂市墨坂南 2-16-1 ☎0120-553-106